

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	207

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防総務						
事業目的	消防活動全般にわたる総務を行うほか、消防職員の人事管理、条例等の整備、文書管理、情報公開等を行うことで、適正な消防事務を行う。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消防事務を適切に実施する。 ●主な事務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・消防職員の被服等を管理、整備する。 ・愛知県消防学校10課程に入校予定。 ・消防大学校1課程に入校予定。 ・講習会として6講習を受講予定。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tbody> <tr> <td>・消耗品費（職員被服含む）</td> <td style="text-align: right;">6, 114千円</td> </tr> <tr> <td>・消防学校研修負担金（10課程）</td> <td style="text-align: right;">1, 630千円</td> </tr> <tr> <td>・防災ヘリコプター運営協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">1, 362千円</td> </tr> </tbody> </table> 	・消耗品費（職員被服含む）	6, 114千円	・消防学校研修負担金（10課程）	1, 630千円	・防災ヘリコプター運営協議会負担金	1, 362千円
・消耗品費（職員被服含む）	6, 114千円						
・消防学校研修負担金（10課程）	1, 630千円						
・防災ヘリコプター運営協議会負担金	1, 362千円						
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動で必要となる技術を消防学校や講習会、救助大会等で身に付け、災害現場で活用する。 ・研修会等に派遣し、消防職員のスキルアップを図る。 						

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防総務事務	14,012	0	0	0	14,012	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	14,012	0	0	0	14,012	100%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	207

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防施設管理						
事業目的	円滑な消防活動を行うため、日常的な庁舎の管理や、消防自動車の管理を行う。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑で迅速かつ確実な消防活動を行うために、庁舎設備、消防自動車の管理を適切に行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な庁舎管理（消防署・北出張所・南出張所）を行う。 ・消防自動車の維持管理を行う。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>・光熱水費</td> <td style="text-align: right;">5,716千円</td> </tr> <tr> <td>・燃料費</td> <td style="text-align: right;">5,477千円</td> </tr> <tr> <td>・修繕料</td> <td style="text-align: right;">1,420千円</td> </tr> </table> 	・光熱水費	5,716千円	・燃料費	5,477千円	・修繕料	1,420千円
・光熱水費	5,716千円						
・燃料費	5,477千円						
・修繕料	1,420千円						
事業の目標	・庁舎設備、消防自動車の適正な維持管理と、光熱水費等の削減に努める。						

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防庁舎管理	7,537	0	0	1,056	6,481	86%
消防自動車管理	9,194	0	0	0	9,194	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	16,731	0	0	1,056	15,675	94%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	209

部局名	消防本部
課名	消防総務課・消防署

I：事業概要

施策事業名	消防活動
事業目的	消火、救助、救急活動により、市民の安全・安心を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・災害事案に対し迅速、確実に活動する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・災害出動指令を受け、現場にいち早く出動し、火災の消火活動や人命救助活動等を行う。 ・消防無線による出動隊間の情報共有を確実にを行うため、通信機器及びバッテリーの整備、維持管理を行う。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬材料費 1,559千円 ・備品購入費（署活系無線機） 1,210千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・通信機器の計画的な維持管理を行う。 ・安全で迅速な活動ができるよう、署活系無線機や指揮隊用資機材の充実を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防活動	2,552	0	0	0	2,552	100%
救急活動	3,103	0	0	0	3,103	100%
通信運用管理	8,597	0	0	0	8,597	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	14,252	0	0	0	14,252	100%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	209

部局名	消防本部
課名	予防課

I：事業概要

施策事業名	火災予防啓発
事業目的	事業所等への火災予防対策や住宅への防火訪問等を実施し、火災予防思想の普及を図ることにより火災の発生を防止し、高齢者を始めとする死傷者の発生や財産の損失の防止を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・防火対象物の関係者による防火管理業務の適正化と消防用設備等の適正な設置促進を図る。 ・住宅用火災警報器の設置と維持管理を促進し、火災予防思想の普及と住宅防火を推進する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・危険物施設や事業所等への立入検査を実施する。 ・消防法令違反のある防火対象物に対して違反是正を推進する。 ・事業所への消防訓練指導を実施する。 ・防火管理者フォローアップ講習を実施し、事業所の防火管理業務の適正化を図る。 ・市内全域から無作為抽出した100世帯を対象に、住宅用火災警報器の設置等実態調査のために、住宅防火訪問を実施する。 ・高齢者の死傷防止啓発を図るため、88歳以上世帯への住宅防火訪問を実施する。 ・住宅防火を推進するため、住宅防火推進町内を指定し、啓発活動を行う。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 477千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の消防法等の火災予防上の不備を是正させる。 ・事業所の防火管理体制の強化を図る。 ・住宅用火災警報器の設置と維持管理の普及啓発を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
防火管理	412	0	0	0	412	100%
住宅火災予防	448	0	0	40	408	91%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	860	0	0	40	820	95%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	1	常備消防費	211

部局名	消防本部
課名	消防署

I：事業概要

施策事業名	救急業務高度化推進								
事業目的	救急業務の高度化を推進し、救命率の向上を図る。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・救急業務の高度化を推進し、救命率の向上を図る。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○救急救命士を養成し、高度化する救急業務へ対応する。 ○既に活動している救急救命士に対し、高度な救急救命処置を習得させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士を指導する救急救命士を養成する。 ・処置拡大（血糖測定、ブドウ糖投与等）、特定行為（気管挿管、薬剤投与）認定救急救命士を養成する。 ・救急業務を行う救急救命士の質を維持するため、医療機関での研修を実施する。 ○市民に対する応急手当の普及啓発を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民体験型の応急手当講習会への参加を呼びかけ、救急車が到着するまでの間に心肺蘇生法やAEDの使用等ができるように、応急手当の知識と技術を普及させる。 ○公共施設や救急車到着に10分以上を要する遠隔地域にAEDを屋外設置する。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・救急業務高度化推進事業委託料</td> <td style="text-align: right;">2,740千円</td> </tr> <tr> <td>・救急救命士養成研修負担金</td> <td style="text-align: right;">2,106千円</td> </tr> <tr> <td>・AED借上料</td> <td style="text-align: right;">3,819千円</td> </tr> <tr> <td>・AED屋外設置用電源設備等設置工事請負費</td> <td style="text-align: right;">710千円</td> </tr> </table> 	・救急業務高度化推進事業委託料	2,740千円	・救急救命士養成研修負担金	2,106千円	・AED借上料	3,819千円	・AED屋外設置用電源設備等設置工事請負費	710千円
・救急業務高度化推進事業委託料	2,740千円								
・救急救命士養成研修負担金	2,106千円								
・AED借上料	3,819千円								
・AED屋外設置用電源設備等設置工事請負費	710千円								
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な救命処置ができる救急救命士を養成するとともに、市民に対する応急手当の普及啓発を推進し救命率の向上を目指す。 ・市民がいつでも使用できるよう公共施設や救急車到着に10分以上を要する遠隔地域の屋外にAEDを設置し、救命率の向上を図る。 								

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
救急救命士養成	6,409	0	0	0	6,409	100%
応急手当普及	4,602	0	0	0	4,602	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	11,011	0	0	0	11,011	100%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	2	非常備消防費	213

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I : 事業概要

施策事業名	消防団員報酬
事業目的	消防団は、地域における消防防災リーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員に対する報酬を適正に支払う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・条例に基づき消防団員に対し、その労苦に対する報酬を支給する。 消防団員定数178名 消防団長1名 副団長2名 分団長6名 副分団長6名 部長19名 団員144名 (消防団の活動) 火災現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒、巡視、避難誘導、災害防御など。 出初式での表彰伝達、火災予防運動や年末特別警戒の市内巡回を通じた広報活動。 女性消防団員による救急講習、火災防止啓発活動、防火講話など。
事業の目標	・消防団員に適正な報酬を支払う。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防団員報酬	10,043	0	0	0	10,043	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	10,043	0	0	0	10,043	100%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	2	非常備消防費	213

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防団運営
事業目的	市民の安心と安全を提供するため、地域における消防防災リーダーとしての消防団員を支援・育成することを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 ・消防団員の支援・育成を行う。 ●主な事業内容 ・水火災、警戒及び訓練等の活動に従事するために出勤した際の費用弁償を支給する。 ・消防団活動で必要となる被服や消耗品、備品を整備する。 ・条例に基づき、消防団員（5年以上所属）が退職した際に退職金を支給する。 ・6つの消防分団がそれぞれ保有する消防団車庫及び消防自動車について、適切に維持管理を実施する。 ・自衛消防隊や婦人消防クラブ等に対し補助金を支出し、団体の育成を図る。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の安定確保のため、市内の事業所、大学及び町内会等に対し消防団活動への理解と協力を求める活動を継続的に実施する。 ・女性消防団員による防火及び救急救命に関する啓発・広報活動の充実を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防団員公務災害	3,907	0	0	0	3,907	100%
消防団活動	16,434	0	0	3,899	12,535	76%
消防団施設管理	842	0	0	0	842	100%
消防団車両管理	1,199	0	0	0	1,199	100%
自主防災組織活動	363	0	0	0	363	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	22,745	0	0	3,899	18,846	83%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	3	消防施設費	215

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	消防施設整備
事業目的	消防力の充実・強化を図るとともに、適切な消防活動を維持していくため、庁舎や車両、救助資機材について整備を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・整備、更新計画に基づき、消防庁舎等の改修整備、消防水利の設置維持、消防自動車等の適正配置や救助資機材の充実を図る。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎等の修繕を行う。 ・第1分団車庫防水工事を実施する。 ・消防庁舎出動路ゲート取替工事を実施する。 ・消防庁舎事務所1階エアコン取替工事を実施する。 ・車両更新計画により本署の水槽車を更新する。 ・消防水利不足地域を解消するため、消防水利を設置する。 ・既設消防水利の維持管理を行う。 ・救助資機材を計画的に整備する。 ・町内設置の消火器を充実させるため、補助金の交付事業を行い、災害に対する自助・共助力を育成する。 ・新たに初期消火器具整備費補助金を創設し、地域における初期消火能力及び防火意識の向上を目的とした補助金の交付事業を行い、災害に対する自助・共助力を育成する。 1事業あたり 対象経費の2分の1 上限150,000円 ・火の見やぐら等安全対策補助金を創設し、市民の生命、身体及び財産を地震等による災害から保護するため、老朽化した火の見やぐら等の撤去を実施する者に対して、補助金の交付事業を行う。 1事業あたり 対象経費の2分の1 上限500,000円
事業の目標	・消防庁舎や車両、資機材等を適正に維持管理することで、安全かつ迅速な消防活動を可能にする。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
消防庁舎等営繕	17,106	0	0	0	17,106	100%
消防自動車等購入	54,451	12,318	0	0	42,133	77%
消防水利施設管理	4,614	0	0	0	4,614	100%
救助資機材整備	1,318	0	0	0	1,318	100%
街頭消火施設等設置補助	1,750	0	0	0	1,750	100%
火の見やぐら等安全対策補助	300	0	0	0	300	100%
-	-	-	-	-	-	-
合計	79,539	12,318	0	0	67,221	85%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	4	水防費	217

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I：事業概要

施策事業名	水防活動
事業目的	犬山市内の水害を防御することを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県水防計画の趣旨に基づき、洪水、内水による水災を警戒し、防御し、これによる被害を軽減するため、管内の各河川及び池沼等に対する水防上必要な事項を具体的に定める。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・水防計画を作成する。 ・水防施設、資機材を整備、管理する。 ・出水時の警戒と水防作業を実施する。 ・水防意識の高揚を図る。
事業の目標	・市内の雨水等による災害への対応を迅速化し、その被害の軽減を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
水防活動	1,979	0	0	0	1,979	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,979	0	0	0	1,979	100%

平成31年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
8	1	5	通信共同運用事業費	

部局名	消防本部
課名	消防総務課

I : 事業概要

施策事業名	通信共同運用
事業目的	消防事務の一部である通信指令業務とデジタル無線を共同化し、住民サービスの向上及び消防体制の効率化、財政基盤の強化を目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣6消防本部（犬山・小牧・江南・岩倉・丹羽消防・西春日井消防）の通信指令業務とデジタル無線について共同運用を継続していく。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市から4名の職員を派遣する。 ・通信指令設備の維持管理を行う。 ・119番通報の受信、指令業務を行う。 ・119番通報等で外国人に対応するため、多言語通訳による受信を行う。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の円滑な運営と通信指令業務の確実な運用により、消防本部間の連携強化と、災害に対する迅速な初動体制を確立する。 ・犬山市単独で通信指令設備とデジタル無線を整備した場合と比較し、通信指令業務の効率化と、経費負担の軽減を図る。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
通信共同運用	20,542	0	0	0	20,542	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	20,542	0	0	0	20,542	100%